

野田市の郷土史研究誌を頒布

～『野田市史研究』第35号を刊行～

野田市史編さん委員会(委員長＝鈴木有 野田市長)は、市史編さん事業の最新の成果をまとめた郷土史研究誌『野田市史研究』(第35号)を刊行し、希望者に有償頒布を開始する。

◆『野田市史研究』(第35号)

【収録内容】口絵写真 鈴木貫太郎記念館所蔵

鈴木貫太郎翁寿像

巻頭雑感 「関宿城跡雑感」

糸原 清(千葉県立関宿城博物館 館長)

補 遺 「『野田市史 資料編 古代・中世1』補遺4」

野田市史編さん委員会古代中世部会

研究論文 「戦後統制期の肥料流通」

— 千葉県東葛飾郡野田町『中村熊次郎商店文書』から —

坂口 誠(野田市史編さん委員会 専門委員)

研究論文 「「守札と民間信仰に関する一考察」補遺」

小川 浩(野田市史編さん委員会 専門委員)

- ・鈴木貫太郎翁寿像(すずきかんたろうおうじゅぞう)は、戦後、内閣総理大臣を辞した関宿時代の鈴木貫太郎をモデルにした木造。地元の人々が資金を集めて日本美術院同人の彫刻家宮本重良に製作を依頼し翁に贈ったものを紹介。
- ・『野田市史 資料編 古代・中世1』補遺4は、資料集の刊行(平成22年)以降に発見された史料で、その後の研究の進展により事実判明した下河辺荘・相馬御厨及び野田市域に関する史料など15点を紹介。
- ・「戦後統制期の肥料流通」は、肥料流通と肥料商の活動について「中村熊次郎商店文書」に収められている資料から指定肥料取扱者となっていた中村爲治(次)郎の活動についての考察。
- ・「「守札と民間信仰に関する一考察」補遺」は、船形地区の旧家に伝わる判読不能であった木製の守札の赤外線カメラによる解読成果を報告。

【体裁】A5版、102頁

【頒布価格・部数】420円(税込)・100部

【頒布場所】市役所市史編さん担当、市内各図書館、郷土博物館

問合せ＝総務部 市史編さん担当 直通 04-7125-7802

代表 04-7125-1111(内線3220)

野 田 市